

カナダ人は BPA 暴露を心配するべきですか？



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2017 年 8 月 30 日(水) [SAFETY](#)

先週、[カナダ保健省\(Health Canada\)](#) は、様々な化学物質へのカナダ人の暴露に関する重要な新データを含むと期待されていた報告書を発表しました。私たちはどの化学物質にどれだけ暴露されているかを知らなければ、それらの化学物質暴露が安全かどうかを知ることは難しいので、この報告書は重要です。

結局、用量が重要です。用量についてご不明なら、頭痛がする時に 1 瓶のアスピリンを飲むと想像してみてください。頭痛はなくなりますが、さらにはそれ以上の結果を招くでしょう。極端な話をすると、命を落とす可能性があります。というのは頭痛には 2 錠のアスピリンが安全で有効ですが、1 瓶全部のアスピリンを飲んだ場合には命を奪う可能性があるからです。

[カナダの環境化学物質のヒトバイオモニタリングに関する第 4 回報告書](#) では、カナダ全土の 2,500 人以上の参加者に対する 54 種類の環境化学物質の暴露データが提供されています。この報告書は、2 年毎に報告書を作成する現在進行中のプログラムの一部であり、2014 年から 2015 年の期間を対象としています。

報告書には主にポリカーボネートおよびエポキシ樹脂を製造するために使用されているビスフェノール A(BPA)暴露に関するデータが含まれています。これらの材料は、日々の生活をより良く安全にする製品に[幅広く使用されており](#)、これらの製品を使用することで微量の BPA に曝される可能性が高まります。カナダ人がどれだけ BPA に暴露しているかを示しているので、カナダ保健省の報告書は非常に重要です。というわけで前述の通り、用量が重要です。

この報告書に関して皆さんが限定されたメディア報道をご覧にならなかった可能性が高く、実際メディアは報告書を読んではいなかったようなので幸いです。報告書が少数のメディアストーリーから除外されたのは恐らく非常に重要な点で、カナダ保健省の報告書に関する短い[“背景知識”](#)の中にその理由が含まれています。

「人体内に化学物質が存在しても、必ずしも健康に影響するとは限らないということに着目することが重要です。」

もちろん私たちが知りたいのは、体内に化学物質が存在することが私たちの健康に影響を与えるかどうかということです。報告書には、BPA が不活性な代謝産物の形で尿中に存在していることが明らかにされており、つまりそれは暴露が起きたことを意味するものです。しかし、そのデータは私たちの健康にとって何を意味するのでしょうか。

消費者にとっては幸運にも、健康に関してデータを解釈するのは比較的簡単です。他の政府機関とともに、カナダ保健省は既に BPA の安全な摂取量を決定しています。さらに以前の研究で、カナダ保健省の研究者らは、安全な摂取量で暴露が発生した場合、尿中で測定されるであろう BPA の量を決定しました。この値は、BPA のバイオモニタリング等価(BE)として知られています。

新しいデータと BE を比較すると、カナダに於ける標準的な BPA 暴露は、カナダ保健省が設定した安全摂取レベルの 1/1,000 以下であることが明らかになりました。このデータは、「BPA は、成人、ティーンエイジャー、子供を含む一般市民にリスクをもたらすものではない。」というカナダ保健省の[以前の結論](#)を強く支持しています。

BPA の安全性に自信があるのはカナダ人だけではありません。中国のある研究者グループによる[最近の解析](#)によると、測定を行った 30 ケ国の全てで、BPA への暴露は非常に低いことが明らかになりました。恐らく、米国食品医薬品局(FDA)のウェブサイトの次の Q&A がこのことを良く物語っています。「[BPA は安全ですか?](#)」「はい。」

以上